

輸入感染症に備えるための感染管理研修 ～エボラ出血熱の流行から学ぼう～

2014年春から西アフリカで流行しているエボラ出血熱が、周辺国だけでなく、米国に輸入されたことをきっかけに、先進国の医療機関でも職員の安全／感染予防の研修の見直しや強化がおこなわれています。

東京都看護協会では、10月21日に、会員および会員施設に対して研修会開催などの提案を含めた注意喚起を行ったところです。この研修強化の一助として、下記のように感染管理認定看護師を対象とした研修会を企画いたしました。

輸入感染症として考慮すべき感染症はエボラ出血熱ではありません。今後、オリンピック開催に向けて、都内の医療機関として備えを強化することは医療安全や患者サービス向上にも役立つものと思われます。ここで学んだ感染管理認定看護師の方を中心に、今後、各地・各医療機関での情報共有が広がることを願っています。

【研修の目標】

- 1) 発熱等の感染症をうたがう症例における初期のリスク評価と初動を学ぶ
- 2) 海外渡航歴のある患者への初期対応を学ぶ
- 3) 今回のエボラ出血熱の流行の概要と医療における課題を学ぶ
- 4) プライマリ領域における患者ケアにおいて必要な感染予防を再度確認する
- 5) 職場や地域で感染予防の基盤を強化する看護のネットワークをつくる

【インストラクター研修】 申込書1 を使用してください

目的：各地の医療機関等に助言できるICN養成

日時：2014年11月9日(日)9:30～12:00 会場：東京都看護協会 3階 研修室

本研修は感染症の指定医療機関のICN、今後、域連への伝達講習に協力可能なICNが対象です(train the trainer)

講師：大曲貴夫 国立国際医療研究センター
黒須一見 東京都保健医療公社 荏原病院
松木優子 国立国際医療研究センター

【感染管理認定看護師研修】 申込書2 を使用してください

目的：輸入感染症への対応を含めた職場での感染対策の見直し、および職場での伝達講習ができる

対象：都内のICN 会場：東京都看護協会 3階 研修室

日時：第1回 11月 9日(日)13:30～16:00

第2回 11月14日(金)18:00～20:30 ★各回内容は同じ

★自施設のPPEを1セットをご持参いただくと確認に役立ちます

【プログラム(予定)】

講義1：海外渡航歴のある患者への対応の基礎

講義2：米国でおきた看護師へのエボラ出血熱の2次感染から学ぶ

演習：感染制御とPPEの選択

- ① 基本の確認 ～ノコ対策等
- ② エボラをうたがったときのPPE



申込方法：申込用紙1または2を用い、FAXにて11月5日(水)までにお送りください。

東京都看護協会
事業部 感染対策委員会事務局
Tel:03-5229-1281
FAX:03-5229-1524
E-mail:kansen@tna.or.jp